

始業式、子供たちはとても落ち着いた態度で式に臨み、2学期のよいスタートを切ることができました。今やコロナウイルス感染は子供にも拡大し、予断を許さぬ状況です。日々の学習に加え、運動会、学習発表会など大きな行事も予定している今学期、感染予防に配慮しながら、子供たちの学びと生活が充実するよう職員一丸となって取り組みます。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



夏休み作品展盛会に終了

8月31日～9月6日
の間、たくさんの保護者
の方が子供たちの力作
を見に来てくださいま
した。ありがとうございました！



PTA 奉仕作業

8月22日（日）PTA 奉仕作業を行いました。お忙しい中、たくさんの保護者の方にご参加いただきました。（今回は高学年を中心に一部児童も参加しました。）また、今回もじいちゃんクラブの皆様が樹木の剪定などをきめ細かにお手伝いしてくださいました。皆様、ありがとうございました。



2学期コロナ対策

冒頭にも書きましたが、子供への感染拡大が現実的なものになり、たいへん懸念しています。

本校では感染防止対策の再徹底を図っています。たとえば、職員玄関の手指消毒用の装置を自動噴霧式に替え、お客様に消毒を徹底していただくようにしました。児童昇降口にはポンプ式の消毒液を置き、登校時には児童が手指消毒をし、登校時にマスクを付けていなかった児童もマスクをつけてから下駄箱に進んでいくようにしました。いずれも「学校にウイルスを持ち込ませない」ことを念頭においた対策強化です。



2学期の教育活動もコロナ対策指針に基づき、一つ一つを慎重に検討しながらの実施となります。急な変更等をお願いする場合もあるかと思いますが、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。※連合音楽会、市体操競技会は、すでに中止が決定しています。（体操競技会に参加を

希望していた子供たちには校内発表の機会を設ける予定です。）

始業式での話

始業式で、二人のオリンピックを取り上げました。



一人目は四十住さくらさん。スケートボードで金メダルをとった19歳です。さくらさんには監督やコーチはおらず、難しい技をユーチューブなどで繰り返し見て覚えたり、ライバルでもあるスケートボードの仲間達と教え合ったりして身に付けたそうです。



二人目は寺内健さん。板飛び込みに出場した41歳です。残念ながらメダルどころか入賞にも届きませんでした。しかし、健さんの演技が終わると、会場にいたすべての飛び込み関係者が大きな拍手で彼を讃えました。それは、健さんが15歳でオリンピックに初出場して以来、41歳のこの時まで6回もオリンピックに出場し続けたその努力とねばりに対する賞賛でした。

そんな話をした後に、私は子供たちに「この二人は川合小学校の君たちととっても似ているね」と続けました。



さくらさんの、監督やコーチがいなくても自分で進んで調べたり、仲間と教え合って高まろうとしたりする姿勢は、川合小の「か 考え学び続ける子」と「わ わかり合い助け合う子」そのものであり、もう一人の健さんの、長年努力し自分を磨き続ける姿勢は「い 一生懸命やりぬく子」そのものだと話しました。「この3つの合い

言葉を大切に、2学期も川合小学校みんなで成長していきましょうね」とまとめ、始業式の話を終えました。

【校長コラム】～良い行動の習慣化～

8月31日～9月6日まで「ぐう～んとステップアップ週間」を実施しました。

新学期のスタートにあたり、生活リズムを整えるよい機会となりました。各家庭での取組をありがとうございました。ある保護者の方がコメント欄に、子供さんの様子を次のように記しておられました。「生活リズムは特別意識することなく当たり前のよう



にきちんとできていました」 拝見し、私は「とてもすばらしいな」と思いました。今夏、2学期の子供育てのヒントを得ようと何冊かの本を読んだのですが、**よい行動を身に付けるには【行動を無意識レベルに習慣化する】ことが重要**と複数の本に共通して書かれていました。そのためには①すべきこと（逆に言えば、しなくてよいことや後にまわしてよいこと）を明らかにする、②自分の意志で取り組む、③周囲の適度なサポート（たとえば、励ましや賞賛、良い意味でのご褒美など）の3点が必要であると自分なりに学びました。前述の子供さんは「よい行動がしっかり身についた状態」であり、本人やご家庭の（今夏を含めたこれまでの）よい取組があったのだなと感心したのです。

何より重要なのは「子供自身の意志」でしょう。意志がなければ取組へのモチベーションが上がるわけがありません。また、意志がなければ「誰かに言われたからやっただけだ」と、しなかつたりできなかつたりした時のいいわけにもなりかねません。また大人としては、相手はまだまだ子供ですから「適度なサポート」をしていく必要はありますね。昔から「手を離しても目を離すな」といわれる通りです。2学期、「子供たちの意志」を、うまくサポートしていきたいですね。